

福 議 委 号
平成24年10月18日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

経済福祉常任委員会
委員長 木 村 隆

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、平成24年9月19日福島町議会定例会9月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第140条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

調 査 事 件	(4) 低気圧 (4/4 発生) による水産施設の被害状況等について			
調 査 期 間	平成24年10月4日 (1日間)			
出 席 委 員	(3) 10月4日 (木)		(4) 10月4日 (木)	
	委 員 長	木 村 隆	委 員 長	木 村 隆
	副 委 員 長	花 田 昌 雅	副 委 員 長	花 田 昌 雅
	委 員	平 加 藤 山 野 隆	委 員	平 加 藤 山 野 隆
欠 席 委 員	なし		委 員 平 野 隆 雄	
委 員 外 議 員	議 員 熊 野 茂 夫 子	議 員 熊 野 茂 夫 子	議 員 熊 野 茂 夫 子	
職 務 の た め 出 席 し た 議 員	議 長 溝 部 幸 基	議 長 溝 部 幸 基	議 長 溝 部 幸 基	
出 席 説 明 員	町 長 佐 藤 卓 也 副 町 長 竹 下 泰 弘 総 務 課 長 中 島 和 俊 水 産 商 工 課 長 近 藤 勝 弘 農 林 課 長 金 谷 栄 一 郎 総 務 課 課 長 補 佐 住 吉 英 之 哉 水 産 商 工 課 課 長 補 佐 川 合 力 哉	町 長 佐 藤 卓 也 副 町 長 竹 下 泰 弘 水 産 商 工 課 長 近 藤 勝 弘 水 産 商 工 課 課 長 補 佐 川 合 力 哉	町 長 佐 藤 卓 也 副 町 長 竹 下 泰 弘 水 産 商 工 課 長 近 藤 勝 弘 水 産 商 工 課 課 長 補 佐 川 合 力 哉	
議 会 事 務 局 職 員	議 会 事 務 局 長 石 堂 一 志 議 会 グ ル ー プ 総 括 主 査 前 田 勝 広 議 会 グ ル ー プ 主 事 沢 田 元 氣	議 会 事 務 局 長 石 堂 一 志 議 会 グ ル ー プ 総 括 主 査 前 田 勝 広 議 会 グ ル ー プ 主 事 沢 田 元 氣	議 会 事 務 局 長 石 堂 一 志 議 会 グ ル ー プ 総 括 主 査 前 田 勝 広 議 会 グ ル ー プ 主 事 沢 田 元 氣	

【委員会意見】

調査事件 4 低気圧（4/4 発生）による水産施設の被害状況について （平成 24 年 10 月 4 日調査）

本年 4 月 4 日に渡島西部沿岸部に発生した爆弾低気圧による高波の影響で当町の水産施設にも被害が発生した。応急的対策費は、定例会 4 月会議において「低気圧による被害対策経費」として議決し、船揚場等の補修を終えているところであるが、沖合に設置している養殖こんぶ係留施設の被害については、漁業協同組合により応急措置が行われ、本年度の漁獲を終えているところである。

このような状況を踏まえ、本年 9 月に漁業協同組合において、養殖こんぶ係留施設の本格的な被害調査が実施され、町では調査結果を基に本年度内の施設補修を計画していることから、その計画内容と併せて船揚場の災害防止策等について調査したところであり、意見交換の内容及び結果は次のとおりである。

【主な意見】

1 船揚場に対する災害防止対策について

近年の異常気象を考えると、各船揚場の現状把握に併せて波高設定の基準を見直し、消波ブロックの設置方法を抜本的に検討し、頻繁に崩れる状況を解消する対策（計画）が必要である。国道が越波による冠水やゴミ等の堆積で通行止めになったことから、海岸と国道を管理する関係機関との防止対策等について、より精力的に協議するべきである。

2 養殖係留施設の復旧計画について

低気圧被害による養殖係留施設の復旧は、来年度の漁業活動に支障が生じないように漁業協同組合と協力し、早急に復旧計画を進めるべきである。

なお、養殖係留施設の多くは設置から相当年数経過していることから、その更新等の検討も必要と考えるので、これまでに設置した全施設の状況（年度・設置数・補助内容・貸付契約内容等）が分かる資料を整理しておくべきである。

【意見交換の結果】

今回の低気圧被害による養殖係留施設の復旧費用は約 500 万円とのことであるが、その費用は過去の例を参考にすると町において負担することが適当と考える。また、当該施設の更新等の検討に当たっては、漁業協同組合及び関係機関と十分に協議した上で、財源計画（補助・起債・受益者負担等）の考え方を整理し、総合計画に登載するべきものとする。